

## NOBELLS AV BOARD

NOBELLS は、”no”+”bells and whistles” 余計なものがない、という意味。ガラスに突板を重ねた前板により、引出を閉じた状態でも内部に収納する AV 機器のリモコン操作を可能にし、かつ、素材の美しさが際立つミニマルなデザインも実現している。自然体でクセが無いためコーディネート性が高く、シャープな輪郭は程よく空間を締め付けてくれる。

美しく流れる木目通しの扉。プッシュオープン仕様により取手や手掛けをそぎ落とし、細部までシンプルであることを貫いている。スライドレールは底付のものを使用しているため側面に露出せず、開閉時も見た目を損なわない。前板を指で軽く押し込むと引出がなめらかに開き、AV 機器のためのデッキスペースと、収納スペースが現れる。デッキスペースの高さは左右が 90mm で、中央が 130mm。高さ 90mm のスペースでも DVD プレーヤーなどはしっかりおさまる。収納スペースの高さは左右が 140mm 程度、中央が 100mm 程度。DVD・CD ケースは左右のスペースに収納できる。中央は色々な機器のコード類をまとめておくのに良いかもしれない。収納スペースに使用されている桐材は古くから筆筒にも使用されている素材。狂いや伸縮性がなく軽量であり、ウォールナットとのコントラストも良い。

ボード背面、引出の背板からボードのフチまでの間に、余白のように設けられたスペースがある。一見無駄なスペースに見えるかもしれないが、ここはマルチタップや長さの余った配線を隠しておける場所。AV ボード周辺にごちゃごちゃと配線が露出するのを避けられ、すっきりと見せられる。また、壁側のコンセントがボードの背面にきってしまう場合でも、この余白があるためボードを前に出すことなく処理できるという利点もある。ただし、その分奥行は深めの 520mm。一般的な AV ボードは奥行 450～470mm ほどなので、この余白の分深くなっている。若干スペースはとるが、全体高さは低めなので圧迫感はない。

前板の四方を廻る枠は、2 枚の板を貼り合わせたもので、薄い板の木口のみが前面にあらわれる構造とすることで、強度をクリアしつつ全体を緊張感ある繊細な印象に仕上げた。枠同士の接合部は木口を見せない「留め」という高い精度を要する接ぎ手が用いられ、木目が天板から側板に流れるかのような繋がりを生み出している。引出内部の桐材を除き、普段は見えない部分まですべてウォールナットの突板（薄くスライスした無垢の木板）を使用。オイル塗装で仕上げているので、自然な木の風合いを感じられる。

〔製造納期〕在庫品 〔仕様〕ウォールナット突板（オイル仕上） 〔機能〕デッキスペース：3 箇所 / 引出：3 杯 / 背面配線スペース / スライドレール付 日本製

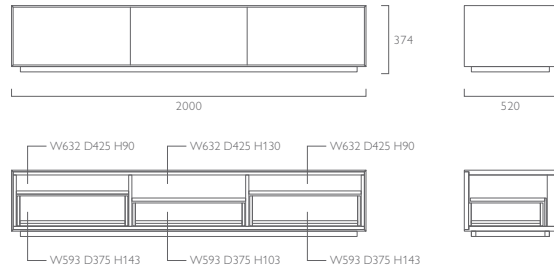
REMBASSY



TYPE

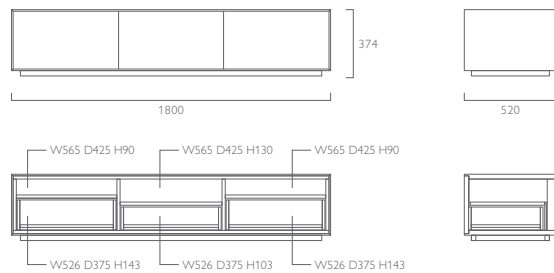
PRICE

W2000  
W2000  
D520  
H374



[WALNUT]  
[OAK]  
302,500

W1800  
W1800  
D520  
H374



[WALNUT]  
[OAK]  
294,300

価格はすべて税込表記です。